

防災

小学校高学年

中学校

高校

総合

道徳

証言記録 東日本大震災

🕒 43分

第59回 宮城県仙台市 動物園の“いのち”を守る

(2016年放送)

この番組の良さ



人間のいのち、動物のいのち

仙台市の八木山動物公園は、約130種、500匹の動物たちがおり、年間約55万人が訪れる市民の憩いの場です。この動物園を、2011年3月11日、激しい揺れが襲いました。幸い人間も動物も無事でしたが、震災の影響で電気・水道・燃料・エサの供給が止まってしまいました。動物園にいる動物たちは、日ごとに追い詰められ、いのちの危険にさらされてしまいます。

何が起こり、どう行動したのか

番組では、人間のいのちさえ危険な状況の中で、動物のいのちを救うために人々がどのような行動をしたのか、語られていきます。人間と動物のいのちを守るために、飼育員や市民が何を考え、どう行動したのかを知ることで、いのちについてより深く考えることができる番組です。

番組活用のポイント

防災教育の一環として

本番組は、防災教育の一環として、東日本大震災から学ぶ学習と関連させながら活用するとより効果的です。視聴前に、震災直後の生活状況について学習し、被災した人々へ物資が届かず避難所で不自由な生活をしたことや、家族や身の回りの親しい人たちの安否が分からず、不安な日々を送っていたことなどについて調べる学習をします。他のティーチャーズ・ライブラリーの番組『クローズアップ現代 子どもたちが綴った大震災』（2012年度版P.36）などを活用するのも効果的です。そして、人間のいのちさえ危うい状況で、動物のいのちを思いやり行動できたのはなぜか、問題意識をもって番組を視聴できるようにします。

いのちについて、自分の考えを深める

番組視聴後は、動物のいのちを思いやり行動できた理由について話し合います。そして、動物園に関わる人々のこの行動をどう思うのか話し合います。その後、いのちについて自分はどうのように考えているのかじっくり考え、まとめていきます。グループで意見交流し、多様な見方や考え方を知り、自分の見方や考え方を深め広げることができるようにします。

道徳と関連させながら、より深めていく

本番組は、総合的な学習の時間だけでなく、道徳でも活用できます。道徳の時間に、生命尊重について学習したあと、本番組を活用し、人間のいのち、動物のいのちについて考えることで、さらに子供たちの葛藤を誘い、ゆさぶりをかけ、いのちについてより深く考えるきっかけとすることができます。